

山間部に特化したLPWA「GEO-WAVE」とは

GEO-WAVE

LPWA※1の中でも制度的に許される最大出力の陸上移動局無線※2を採用し、LPWAの低消費電力という特性を備えながら通信距離が長く、市街地はもちろんのこと中山間地域など険しい地形での通信手段として有効な独自のIoT向けLPWA無線技術です。

※1.Low Power Wide Areaの略称で、低消費電力・長距離通信に秀でた無線規格の総称

※2.操作者の資格不要、簡単な無線局の登録申請と開設届け、少額の登録料と電波利用料の納付のみ必要な規格

- ① 920MHz/250mWの高出力なので、ワンホップで長距離通信可能。降雨減衰や樹木の成長など環境変化の影響を受けにくく、険しい地形でも回り込み・反射を活かした見通し外通信に適している。
- ② 中継機能対応。中継機は省電力なのでソーラーバッテリーで稼働でき、商用電源が確保できない山頂等に設置し、通信エリアの拡張が可能。
- ③ 双方向通信により、利用者同士の連絡、機器の遠隔制御やソフトウェア更新による機能追加も可能。
- ④ 自営だから通信費用が無料。必要な地域に低コストで通信インフラを構築可能。(電波利用料、クラウド利用料は別途必要になります)

